



メールマガジン「ユニバーサルひょうご通信」第 130 号  
発行:兵庫県ユニバーサル推進課 令和 3 年6月 11 日



ユニバーサルひょうご通信6月号をお届けします。



【今月のピックアップ!】

①ユニバーサル動画(2種)を、県内各地で放映しています

【イベント・募集】

②「兵庫県障害者アートギャラリー」7月の催し

③ひょうごふるさと寄附金を募集しています

「ユニバーサルカフェ」「小児筋電義手」「障害者スポーツ」

【手話カフェ】

④ ~音楽や音のこと~

【ラジオ】

⑤ラジオ「濱田祐太郎のひょうごユニバーサル通信」



①ユニバーサル動画(2種)を、県内各地で放映しています

4 月のメルマガでご案内しましたユニバーサル動画を、県内一部ケーブルテレビで放映中です。また、短縮版(30 秒程度)をイオンモール神戸南店・神戸北店、三宮センター街大型スクリーンで放映しています。ぜひご覧下さい。

■動画の内容

コロナ禍において、障害のある方々の生活は一層困難なことが多くなっています。具体的にどのような困難を抱えていらっしゃるのでしょうか。私たちに必要な理解やサポートとは？

ナビゲーターはひょうごユニバーサル大使の濱田祐太郎さんです。  
動画は、ひょうごチャンネルに掲載しています。  
学校や職場での研修等にもぜひご利用ください。

■「盲ろう者の生活を見つめて」(10分)

ひょうごチャンネル <https://hyogo-ch.jp/video/1125/>

■「知的障害や自閉症をお持ちの方の生活を見つめて」(10分)

ひょうごチャンネル <https://hyogo-ch.jp/video/1123/>

---

②「兵庫県障害者アートギャラリー」7月の催し

---

神戸市灘区の県立美術館王子分館「原田の森ギャラリー」内にある「兵庫県障害者アートギャラリー」では、7月1日(木)～9月30日(木)まで「南光園 絵画作品展 こころのせかい」を開催します。心に刻まれた風景や大好きなものを描いた作品、グループで描いた作品、身長ほどもある大きな作品など、障害のある方々が、様々な表現手段を使い、自由な発想で描いた豊かな絵画の世界をどうぞご鑑賞ください。

■「南光園 絵画作品展 こころのせかい」

<https://hyogo-arts.or.jp/harada/exhibitionmonth/202107/>

---

③ ひょうごふるさと寄附金を募集しています

「ユニバーサルカフェ」「小児筋電義手」「障害者スポーツ」

---

兵庫県のふるさと納税「ふるさとひょうご寄附金」のうち、障害者の社会参加を支援する3つのプロジェクトをご紹介します。

■ユニバーサルカフェ開設応援プロジェクト

高齢者、障害者、子ども・子育て世代、外国人など誰もが気軽に集い、交流を行える「ユニバーサルカフェ」の開設や、既存のカフェの充実に活用します。皆さまからの寄附により、地域のみんなが集える地域の居場所づくりを支援していきます。

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/universal/universalcafe.html>

#### ■小児筋電義手バンクへの応援プロジェクト

筋電義手(きんでんぎしゅ)とは、筋肉が収縮するときに生じる微量の筋電位を利用して、本人の意思で指を動かせる電動の義手です。筋電義手は、お茶碗を持ってお箸で食べる、紙を持ってハサミで切るなどの両手での動作を可能にし、体のバランスを整えるなど、子どもの成長過程で様々な利点があります。

皆さまからの寄附により、事故や病気などによって手を失ってしまった子ども達へ訓練用筋電義手の確保・貸出等を行います。

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/bank.html>

#### ■障害者スポーツ応援プロジェクト

自らの障害を乗り越え、スポーツに打ち込む、輝く障害者アスリートを応援します。いただいた寄附金は次のことに活用します。

- ・障害者アスリートの練習場所の確保の支援
- ・専門コーチによる競技指導・実技指導
- ・障害者スポーツ用具の購入支援など

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/zeitemplate.html>

■兵庫県のふるさと納税「ふるさとひょうご寄附金」全般についてはこちら

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/ac02/kihu01.html>

---

④【手話カフェ】 ～音楽や音のこと～

---

今日は私自身が違いに気づいた経験をもとに「音」に関わるエピソードを挙げてみたいと思います。

お昼休みのチャイム、レストランのBGM。家電品の音。電車に乗れば駅の名前や乗換案内などの放送……。私達はたくさんの音に囲まれて生活しています。

テレビドラマや映画では、音楽や効果音で気持ちが盛り上がったり、恐怖を感じたりしますね。音楽から映画やドラマのワンシーンを思い出したことがおありではないでしょうか。

しかし、重度の聴覚障害者は、音がほとんど届かないので映像と字幕だけを見ることになり、ホラー映画は画面でびっくりすることはあっても、あまり怖くないと聞いたことがあります。

運動会、式典、レストランなど雰囲気が必要な場ではBGMが流れていますが、聴覚障害者だけが集まる催しではBGMをしません。聴覚障害者にとって、BGMは聞こえなかったり、補聴機器をつけている方にはBGMが雑音となり、話し相手の人の声が聞き取りにくくなったりするからです。

手話で生活する方々の式典では、司会はマイクをしませんし、開始のベルもありません。同時に全員に知らせるにはどうするか、お分かりでしょうか？目で見てわかる方法を使います。答えはこのコラムの最後に書きますね。

また、この頃は音声で話す機械も増えています。重度の聴覚障害者は音声があること自体気づかないので、手話通訳で同行したときに機械の音声を通訳すると「そんなこと言ってるの？」とびっくりされます。

これは、例えば無人駅、銀行のATMのインターホンなど、音声でしか問い合わせできない場面の時、大変困ることを意味しています。主要駅から駅員さんがやって来るまで待っていたという話もあります。もし、エレベーターに閉じ込められたら助けが来るのかどうか分からないまま待ち続けることになって怖いですね。せめてカメラ付

きインターホンで、文字入力ができたり、書いたものを見せられるようになれば少しは安心できるでしょうか。

いかがでしょう。いろいろな場面で違いがあることを感じていただけただけでしょうか。

最後に耳の聞こえない人が集団でいるとき、一斉に知らせるためには「電灯のスイッチをパチパチと点けたり消したりする」という方法を使います。そして、拍手は手をたたくのではなく「手を頭上に挙げてひらひらと振る」。見てにぎやかな拍手なのです。

---

## ⑤ ラジオ「濱田祐太郎のひょうごユニバーサル通信」

---

### ■5月15日の放送内容

<ゲスト>

公益財団法人兵庫県手をつなぐ育成会理事長 井上三枝子さん

<テーマ>

知的障害のある方、自閉症の方の社会参加を考える

コロナ禍において、知的障害のある方や自閉症の方は、感覚が過敏なためマスクを付けることができなかつたり、手先の消毒をスムーズに行えないことがあります。世間では当たり前に行えることが、“できない人もいる”のを理解し、「何か理由があるんだな」と思っ  
て温かい目で見守ってほしいとお話されました。

番組後半は、赤穂市のNPO法人ワーキングnetにしはりま「ラ・フ  
ァランドール」で作られた「みかんジャム」をご紹介します。

詳しい放送内容は、ラジオ関西「ラジトピ」をご覧ください。  
<https://jocr.jp/raditopi/2021/06/02/324710/>

### ■次回のラジオ「濱田祐太郎のひょうごユニバーサル通信」

6月15日(火)15時20分～15時40分

(ラジオ関西「PUSH！」内)

ゲストは、高砂市老人クラブ連合会理事の真利一憲さん。(予定)

誰でも気軽に集える居場所、高砂市の「よろずカフェ」についてお話いただきます。

#### ■メッセージの募集

番組を聴いてのご感想や、まちかどでユニバーサル社会を感じたこと、ユニバーサル大使の濱田祐太郎さんへの質問・メッセージを募集しています。メッセージの宛先は、[push@jocr.jp](mailto:push@jocr.jp)

または、〒650-8580 ラジオ関西「火曜 PUSH！」までお送り下さい。

---

#### 【編集・発行】

イベント情報や、メルマガの配信希望・中止等のご連絡は以下まで  
兵庫県健康福祉部障害福祉局ユニバーサル推進課

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号

TEL:078(362)4379 FAX:078(362)9040

Mail:universal@pref.hyogo.lg.jp

---